

第4学年 総合的な学習の時間指導案

日時 平成27年6月16日(火) 5校時

指導者 教諭 小林 三佳(T1)

教諭 大内 恵美(T2)

場所 4年1組教室

1 単元名「復興のためにできること」

小単元「荒浜小の復興」

2 単元の目標

○見出す力

- ・これまで取り組んできたことをもとに、さらに調べたいことや実践したいことを明確にして、一人一人の課題を設定することができる。

○みつめる力

- ・震災後の荒浜について取材するなかで、震災からの復興について自分なりの考えを持つことができる。

○かかわる力

- ・震災を経験した荒浜小の歴史の一員として自分にできることは何かを考え、主体的に行動することができる。

3 指導に当たって

本学級は荒浜小が東宮城野小に併設されて2年目に入学した児童で、男子3名、女子1名、計4人の少人数学級である。4年前の東日本大震災で津波の被害を受けた時は、幼稚園の年中だった。友達を震災で亡くした児童は、入学当初突然泣き出してしまうことがあり、心のケアの面から震災について振り返る機会はあまりなかった。

昨年は「荒浜カルタ」を作ったり、荒浜校舎や仮設住宅に花を植えに行ったりしながら、地域の方々との交流を深めてきた。友達を亡くした児童はその祖母との手紙のやりとりを続けてきている。

4年生になった児童は、休み時間に東宮城野小や荒浜小の友達と伸び伸びと活動する様子が見られるようになり、周りの人の思いにも気付けるようになってきた。

少しずつ自分に自信が持てるようになってきて、これまでの取組を通して「お世話になった方々に感謝の気持ちを伝えたい」という気持ちも芽生えてきた。

4月に社会科で仙台市の防災の取組について資料を使うことがあり、震災当時の写真などの載った資料を使うことを心配したが、どの児童も冷静に考える様子が見られた。これまであまり話さずにいたせいか、震災の頃のことについて思い出したことを話し出すと止まらない児童もいる。

今年度、東宮城野小や七郷小の4年生との交流の機会がある。統合前の最後の年なので、東宮城野小とのこれまでのつながりや七郷小とのこれからのことを考えながら、子供たちの心の復興の歩みを多くの人に伝える機会にしていきたい。そして、荒浜小で過ごしてきたことが自信となり、児童にとっての未来につながる取組にしていきたいと考える。

4 研究の視点と研究との関わり（手立て）

(1) 児童が主体的に取り組むことができる教材の開発

手立て①

震災後4年間の児童の心の変化に合わせて、内容を入れ換えながら荒浜小学校の良さを見つめられる教材にする。

手立て②

いろいろな人たちの思いに気づき、さらに調べようとする意欲を高めるために、当時の写真を用いて提示し、疑問に思ったことをインタビューさせたりする。

(2) 学びを整理し、考えを深めていくことができる単元構想の工夫

手立て①

震災後の3つ（震災後1年目、震災後2年目、震災後5年目）の時期の比較をさせることで、復興の様子に気付かせる。

手立て②

荒浜小学校の復興の様子を伝える相手を意識させることで、調べ方や伝え方を考えさせる。

5 指導計画（25時間扱い）

段階	活動名	主な学習内容	育てたい力
つかむ 第1次 4時間	震災当時の自分を思い出そう。(2) 今の荒浜を見つめよう。(2)	震災当時の自分や家族、周りの人々の様子を思い出す。家族からも聞き取りをしてきて、みんなで確認し合う。 がれき拾いをして、復興のために活動するReRootsの人たちの気持ちに気付く。 荒浜探検に行き、自分が以前住んでいた家の跡地やその周りの現状を自分の目で確かめ、これからどうしていきたいか願いを持つ。	見出す力
追究する 第2次 15時間	震災後の荒浜小の様子を調べよう。 ① 震災後2年目(1年生)の様子を思い出して記録しよう。(4)	震災後4年がたち、児童の元気になってきた姿や、荒浜小全体が活気に満ちてきた様子を知る。 当時の写真を4人で分担して、元気になったと思う写真や復興している様子が伝わる写真を一人2枚ずつ選ぶ。 なぜ、その写真を選んだか説明し、足りない点は補足し合う。 応援してくれる人に伝わるように写	みつめる力

	<p>② 震災後1年目の学校の様子を記録しよう。(6)</p> <p>③ 震災後5年目(今年)の様子を記録しよう。(5)</p>	<p>真に文章を添える。</p> <p>自分たちの知らない震災後1年目の学校の様子を調べる方法を考える。(本時)</p> <p>児童の考えた方法(アンケートやインタビューなど)で調べる。</p> <p>震災後2年目の様子との違いなど、気付いたことを記録する。</p> <p>東宮城野小学校との交流が深まり、七郷小学校との統合に向けた見通しも立ってきた今年度の様子を記録する。</p>	<p>みつめる力</p> <p>みつめる力</p>
広げる 第3次 5時間	荒浜小の復興を伝えよう。	<p>これまでの学習を整理し、伝える相手や方法を話し合い、実践する。</p> <p>復興を支えてくれた人たちに感謝の気持ちを持ったり、これから自分ができることは何かを考えたりする。</p>	かかわる力
振り返る 第4次 1時間	活動を振り返る。	1年間の学習を通して、自分の思いを発信することができたか、振り返りをする。	みつめる力

6 本時の指導

(1) ねらい

震災後1年目の荒浜小学校について調べようとする意欲を持ち、調べる方法を考えることができる。

(2) 指導過程

過程	主な学習活動	主な指導・支援(視点)
導入 5分	<p>前時の学習を振り返る。</p> <p>本時のめあてを確認する。</p> <p>震災後1年目の荒浜小学校の様子を調べる方法を考えよう。</p>	<p>震災後2年目(1年生)の様子について調べたことを掲示する。</p> <p>本時までの4人それぞれの頑張りを具体的にほめる。(T2)</p>

展 開 ① 10 分	①震災後1年目の最初の合同朝会の写真を見て、気付いたことや思ったことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・何をしているのだろうか？ ・東宮城野小の体育館かな？ ・知っている人がいた。 ・真ん中で分かれている。 ・うまくやっっていけるかな。 	1人1枚の写真を用意し、よく見て考えられるようにする。 最初の合同朝会の写真だと知らせ、映っている人たちの気持ちを想像させる。
	②震災後1年目のことについて分からないことや調べてみたいことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・どんな出来事があったのだろうか。 ・何人ぐらいいいたのだろうか。 ・大変なことはあったのかな？ 	
展 開 ③ 25 分	③震災後1年目の荒浜小のことを調べるにはどうしたらいいだろう？ <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人に聞けばいい。 ・もっと写真を探せばいい。 ・七郷中で聞けばいい。 ・アルバムを見ればいい。 	誰にどんなことをどのような方法で聞くのか、具体的に考えられるように発問を工夫する。 これまでの経験などをもとに方法を考えられるようにする。
	④調べる方法について話し合う。	インタビュー、アンケートなどの分担も決められるようにする。
まとめ 5分	活動を振り返り次に頑張りたいことを発表する。	活動のよかったところを確認してほめる。 次回の予告をする。

(3) 評価

震災後1年目の荒浜小学校について調べようとする意欲を持ち、調べる方法を考えることができたか。